

自然に学び、先人に学ぶ

No. 22 ～循環し継続する自然界と人間社会～

今年の冬はまれにみる厳しい寒さの連続でした。信州の地を踏んだ半世紀前を思い出しました。バス停でバスを待つ時に鼻水が凍り、銭湯からの帰り道で絞ったタオルがカキンと凍ってしまったことを。

今年も変わらず春は巡って来て、福寿草が咲き、梅や桃、桜の花が一斉に咲き始めています。自然界の真理・法則ですね。以下はLOA 開発当初にお知らせした内容です。

* マイナスをプラスにする愛と調和の世界

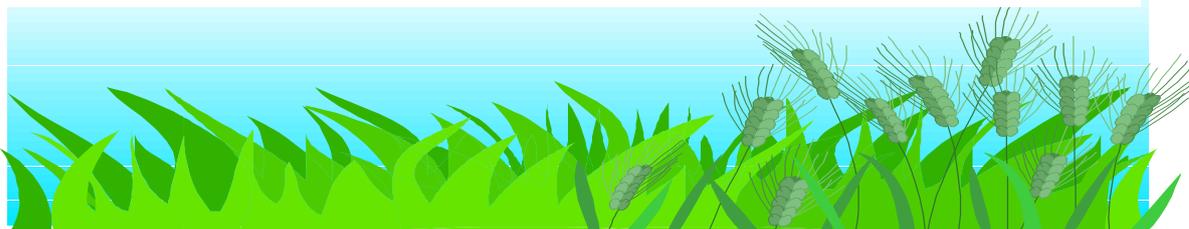
人間や動物は糖を燃やして生きています。そしてこの糖を色々なものに循環させてエネルギーをつくっていますが、するとそこに排出物（マイナス）としての水素原子（ $2H$ ）や一酸化炭素（ CO ）が出来ます。私たちの体は、出来たこれらのものを除去するわけではなく、呼吸によって体に取り込まれた酸素（ O^2 ）の1個と水素原子（ $2H$ ）が結びつき、水（ H^2O ）となります。もう1個の酸素原子は一酸化炭素（ CO ）とくっついて、二酸化炭素（ CO^2 ）になります。

二酸化炭素は呼吸で外に出て植物の光合成に使われ、その光合成の働きにより酸素となって放出され、また体の中に入ってきます。一方、水は糞尿などの排泄物となって土に還り、植物の根から吸収され栄養源として葉を茂らせ、光合成の働きを助けます。

このように、自然界の循環にはマイナスをプラスに変えるしくみが秘められています。

植物の光合成という一連の働き・循環があってこそ、地球上の多くの生命体と人間の生命活動なのです。自然界はこのような素晴らしい愛（叡智・法則）と調和（多様性のバランス）に満ち満ちているだけなのです。洞察を深めると、自然界にはマイナスもプラスもないことが解ります。

（但し、残念なことに、その自然も人間の営みのために、この半世紀の間、劣化し疲弊し続けています）



宇宙、自然は常に回転し循環し継続しています。その中に私たち人間も代々命をつなぎ生かされています。銀河、太陽系、光、空気、水、昼夜、地中、季節、生命、血液、経済（お金）などすべてが循環し続けています。止めようと思っても、何一つ止めることはできません。

* 共生・共存とは自然の中で自らの生命力を高め、侵され蔓延させないこと

昨今の人間社会で起きている事象（凶り事）を観ていますと、単純且つ、直線的で短絡

的であり、循環しているとは言えない事（コト）がとて多くなりつつあります。コロナ禍で言えることは、人間の弱さを露呈した、消毒・殺菌・滅菌の徹底ぶりです。これは清潔（衛生的）や安全という観点とは違う論点です。私たち人間も動植物も天文学的な数のウイルスや細菌、微生物、原生動物などに囲まれて（守られて）生命活動を営んでいるという事実です。言い換えますと、生きていくうえで不可欠な共生・共存していく存在たちです。それを一網打尽的にせん滅することが最善と思い、実行していることです。問題となるのは、この後環境の変化に合わせて変異し耐性を持ったミクロの存在たちが異常に増えていくことです。その原因を創っているのはほとんどの場合人間と人間社会です。これは人類の健全な生存に関わる重大な問題です。

類似した他の事例として、食品に対する姿勢と言いますか扱い方として、農業の現場では農薬や化学肥料の多用、特に除草剤による生態系の破壊です。その先に何が起きてくるのかという想像力の欠如がもたらす悲劇です。他には食品添加物も大きな問題です。植物や動物そして人間の健康被害が蔓延するかも知れないという危惧を無視して、科学技術や経済優先の薬品の多用や高速無線通信網の整備が進んでいます。現実には香害（化学物質）や電磁波に苦しんでいる子どもや大人は増え続けています。

“2番ではいけないのでしょうか？”と発言して話題になった国会議員がいましたが、一般社会に5Gは必要でしょうか？（産業分野だけではだめでしょうか？）、リニア新幹線を必要とする急用の人はどれだけいるのでしょうか？衣類に香り（異臭）を浸ける柔軟剤の目的は何でしょうか？これらはほとんどサービス（商品）を提供する側の一方的論理でいかに収益を上げるかが目的であり国民の健康や幸せは二の次で眼中にありません。

*負の連鎖の原因

人（他の動物や植物も）の体にとって、現代社会は健康的で心地よい、安全な時代なのでしょうか？

今では当たり前になっている成人病、主に赤ちゃんや子どもの頃に発症しているアトピー性皮膚炎や花粉症などのアレルギー疾患や自閉症など発達障害、原因不明とされ易い頭痛おう吐・手足のしびれ・皮膚炎・慢性疲労・倦怠感・動悸など挙げれば限がありません。

20年以上前から発信してきましたが、これらの現象や結果の原因と機序は化学物質の多用と家電や携帯電話などの電磁機器及び無線通信機器の発達・普及に由ると類推することができます。なぜなら、現代社会（第二次世界大戦後）の生活様式と病気や障害の推移がほぼ一致しているからです。（原因を明らかにする疫学という学問が必要且つ重要）このような社会の変容によって人間や動植物が健康に生きていく力（免疫力、自己治癒力など）が削がれてしまったと考えられます。

そこに2年半前から始まった「コロナ禍」があります。このような状況は人間社会の一部となっている動物（家畜）や植物にだいぶ前から発現しています。それは、鳥インフルエンザ、豚コレラ、口蹄疫等や松枯れです。

「コロナ禍」が始まった時、直感し推測しましたことは“コロナ禍、或いは似たような感染症は今後止むことなく延々と続くことになるだろう”と予測しました。案の定、ウイルスは変異を繰り返しながら止む気配はありません。このように推測した根拠は前述の通り、ウイルスの変異と「免疫力の低下」です。化学物質（農薬、食品添加物、医薬品、殺菌・殺虫剤、芳香剤など）と電磁波（5Gなど高速大容量の無線通信網の整備と普及）の影響が大きな原因となっていると考えられます。

もう一つ判り易い視点で免疫力の高低差による違いを考えますと、コロナウイルスに感染して亡くなる人、重症化する人、後遺症に苦しむ人、軽症又は無症状の人、感染しない（していないと思っている）人がいます。又、ワクチンを打つ、打たないに関わらず2回、3回と感染する人もいます。更に、いずれの場合も後遺症で苦しむ人が増え続けています。なぜなのか？この違いをよく考えてみてください。（※個人的な見解としては、ウイルスや菌が体内に入っても増殖し発症しなければ問題ないと考えています＝共生）

自然界や自然を相手に営む農業の現場のことを観察して解ることですが、四囲には膨大な数のウイルスや細菌、微生物、昆虫、動物がいます。よく病原菌、害虫、害獣などと区別して扱いますが、そのようなものはこの世界には居ません。人間の都合で名前を付けて排除（殺傷）しようとしているだけです。ゴキブリもネズミも、カメムシも蚊やハエも私たち人間より前から命を繋ぎ、今を生きているだけです。ウイルスもしかりです。問題の本質は共生・共存できない人間の側にあります。すべての生物、無生物は広大無辺の世界に生かされ生きています。その中で人間も生かされている一つの生命体です。

***健康のためなら死んでもいい！？**

“現代人は家畜か？”皮肉を込めた少々きつい言い方ですが、似たようなもの（動物）だと思いませんか？生物、動物としては同じ生き物です。皮肉った言い方は、一つの“警鐘”です。どのような環境で、何を食べているか、です。更に、ウイルスや病原菌に罹患してはならない、病気予防のため健康のためなら、とビタミン剤など栄養サプリを摂りワクチンを打ち続けることはまるで家畜に似ていませんか？見えないケージの中で、一方向性の情報（マスコミ、TV、インターネット等）や企業の利益優先の添加物だらけの食事（餌）の虜となり、華々しい広告合戦に踊らされ、縛られた世界から抜け出せないまま、一生を終えるのでしょうか？このようなことは考えたくも、認めたくもありませんが、誰も否定できない事実です。

その結果が、今私たちが目の当たりにしている世界です。不安な未来です。

*対処療法的科学万能主義の時代から心の時代へ

新たな病気が発生すると、大学の研究所と製薬会社がいち早く新薬やワクチンの開発にしのぎを削り始めます。或いは、新たな未知の領域の研究へと進みます。これはこれで価値のある仕事で、人間の本能（探求心）を満足させることになりますからいいのですが、いつも不思議（疑問）に思うのは、その病気の根本的、本質的原因は何かを突き詰めていこうとするアプローチが殆ど見えないことです。（このアプローチはお金にならないからだろうな～と受け止めています）

病気や障害の原発となる本質的原因を突き詰めて、それを取り除くか予防することで免疫力や自然治癒力が高まり、病気に罹らない（未病）、或いは軽症で済み早く治癒することが多いと思われます。私見ですが、その原因となるものが前述しました化学物質や電磁波です。しかし、これは権益を求め守る側（失う側）からの反発や妨害が予想されます。

水は水蒸気に、雲に、雪に、雹に、氷に、雨へと循環しています。窒素は形態を変えながら、大気 {窒素 (N₂) + (O₂) + (Ar)} →植物体→動物体の間をグルグルと循環しています。私たち人間ひとり一人の人生も輪廻という循環の一コマです。水や窒素、光のお世話になりながら・・・祖父母―両親―自分―子―孫・・・と世代を継ぎ、切れ目なく繋がって循環しています。有難いことに、すべて天（自然・神）の恵みで無償です。自然界に厳然と働いている愛（光・エネルギー・摂理・法則）に思いを巡らせながら、眼に見える、見えないに拘わらず今起きている事やこれから起きるであろうことに、それぞれの立場で責任ある判断と行動が求められます。

さて、自然や社会に対するあなたのバランスシートはいかがでしょう？



自然の力をもって自然を制し、自然の力をもって自然を生かす

補足（ご参考までに）

2030年商用化を目指して、次世代通信システム「6G」の開発が進められています。その機能はなんと「5G」の100倍の通信速度、大容量化です。2020年にスタートした5Gでも2時間の映画が数秒でダウンロードできるそうです。